



南側から俯瞰した稲毛キャンパス

index

- ご挨拶/人事
- 2020年度 教育後援会総会
- 教育後援会事業について
- TOPICS
- SNSの適切な活用
- 2020年度 後期 学事日程
- コロナ対策
- 「健康相談ほっとライン」の活用/編集後記

敬愛大学健康相談ほっとライン

健康・医療・こころの不安でお悩みなら



0120-304-023

24時間・年中無休、通話料無料の専用ダイヤルで気軽にご相談いただけます。



学生とその保護者の方がご利用頂けます。

24時間電話健康相談サービス

経験豊かな**医師・保健師・看護師**などの相談スタッフが、健康・医療・介護・育児などに関するご相談にアドバイスをいたします。

メンタルヘルスカウンセリングサービス

公認心理師や臨床心理士などの心の専門家が電話・Web・面談によるカウンセリングをいたします。

電話・Webカウンセリング受付時間

- | | |
|-----|-----------------------|
| 電話 | 9:00～22:00（年中無休） |
| Web | 24時間・年中無休（返信は数日を要します） |

※緊急事態宣言発令によりお電話がつながりにくい状況がありますので予めご了承ください。

医療機関情報等の提供

健康相談と合わせて、全国約40万件を超える医療機関データベースから、夜間診療を行っている等、ご希望に応じた医療機関情報等のご案内いたします。



<https://t-pec.jp/websoudan/>

ユーザー名:keiaiusr
パスワード:304023

面談カウンセリング予約受付時間

- | | |
|-----|---|
| 電話 | 9:00～21:00（土曜日は16時まで）
（日曜・祝日、12/31～1/3を除く） |
| Web | 24時間・年中無休
（受付後、日程調整のお電話をさせていただきます） |

※緊急事態宣言発令中の都道府県においては面談カウンセリングを中止しております。



プライバシーは厳守されますので、安心してご利用ください。（委託先 ティーベック株式会社）

ご利用の際の諸条件などがありますので、ご不明点はお問い合わせください。



個人情報の取扱いについて

●本サービスは、ティーベック(株)が業務委託を受けて運営しております。●ティーベック(株)は、面談を行うサービスを適切に実施するため、ご利用者よりいただく個人情報の取り扱いを面談担当者(本事業提携会社および本事業提携医療機関を含む、以下同じ。)に委託する場合があります。十分な個人情報の保護水準を満たす者を選定し、契約を締結する必要があります。●個人情報をお知らせいただけない場合は、当該サービスをご提供できない場合があります。●ティーベック(株)は、個人情報を上記の目的以外に使用しないことはもとより、ご利用者の同意を得ている場合、法令にともなう場合、ご利用者本人または第三者の生命、身体または財産の保護のために必要があると当社が判断した場合を除き、取得した個人情報を委託先以外の第三者に提供いたしません。●ティーベック(株)は、応対品質の向上及び通話内容の検証を目的として、書面、録音または電子的方法等により記録させていただくことがございます。●ご提供いただきました個人情報の開示等を求めることが可能です。お手続きは「〒110-0005 東京都台東区上野5-6-10 ティーベック(株) 個人情報相談窓口責任者(個人情報保護責任者代)」までお問い合わせ下さい。●当該サービスをご利用いただいた場合は上記の内容をご理解の上、個人情報の取得および提供についてご同意いただいたものとさせていただきますので、あらかじめご了承をお願いいたします。

editor's
notes

編集後記

「変化を受け入れるということ」

「今年は未だかつて経験したことのない夏になる」と何度も報道で流れていた。夏前にこの言葉を聞いた時は「コロナと暑さのダブルパンチでは大変だろう」とは思ったが、そこまで深く考えずにいた。しかし、その「かつてない夏」は確かに来た。

新型コロナウイルスの感染爆発により私たちは「新しい生活様式」の実践を迫られて

いる。これまでのごく普通の行動では感染を拡げてしまうからである。今後は「新しい生活様式」が「ごく普通の行動」となっていくのだろう。この真夏の暑い盛りにマスクを着用していることが日常の風景になった。人との距離感もコロナ前と違う。在宅ワークも普通になった。自分には縁がないと思っていたZoom、Skypeなどを用いたりリモートの会議や

研修も必要に迫られ、教えてもらいながら参加した。

変化を受け入れることは、「これでいい」と信じ続けていたことをいったん否定して手放さなくてはならない辛さも伴う。しかし、それは「新たな自分と出会える可能性」でもあると考えて、学生と共に頑張ろうと思う。(N)

Greeting



教育後援会 会長
今 吉 哲 也

ご挨拶

新入生の皆様、保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。今年、新型コロナウイルスの影響で、卒業式並びに入学式が行われない事は非情に残念に思います。それに教育後援会総会が出来無かつた事も残念に思います。また、教育後援会からの書類等でのやり取りに後援会関係者、保護者の方々にはご協力ありがとうございました。本当であればオリンピックの年になるはずでしたが、この新型コロナウイルスの影響により、オリ

ピックも来年に延期とのことです。私が住んでいる一宮町の近くでサーフィンの大会が行われることになっていましたが、それも来年に延期とのことで、とても残念に思います。

さて、新入生の皆さんは、この敬愛大学に何か目標を持って入学されたと思います。その目標を、達成できるように大学4年間を、楽しく過ごしてください。大学4年間は長いようで短いです。一日一日大事に過ごし、将来の夢を見つけ出し、社会に飛び立ちましょう。そこで、敬愛大学には教育後援会という組織があり、そこでは課外活動、学校内環境、教育活動、留学生支援、就職活動、生活相談、大学行事、卒業関係支援と数多くの支援、活動をしており、学生の皆さんをサポートして

いきますので、大学4年間悩まず、なんでも相談していきましょう。今年、新型コロナウイルスの影響でいろいろなイベントが、中止及び延期と大変な一年になりそうです。でもこの大変な年を皆さんの力で乗り切り、楽しい年にしていきたい。僕たち、役員一同が学生の方、保護者、保証人の方々の架け橋になればと思っております。何でもよいので声をかけてください。

最後になりますが、保護者、保証人の皆様、日頃から敬愛大学教育後援会の活動にご尽力いただきお礼申し上げます。今後もより良い、学生生活が送れますように、お力添えをお願い申し上げます。



理事長・学長
三 幣 利 夫

ご挨拶

教育後援会の皆様には、平素より本学の教育活動に関し温かいご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。今年度は「新型コロナウイルス」感染拡大を抑制するため入学式を中止し、授業については5月第1週の開始に遅らせ、また、学内での対面型でなく遠隔授業で行うなど例年とは全く異なる教育活動となりましたが、学生始め関係者のご理解とご協力により無事に前期を終えることが出来ました。改めて厚くお礼申し上げます。

今回のコロナ危機は、様々な分野で我が国のデジタル化の遅れを露呈させました。行政の煩雑な事務手続き、テレワークを実施し難い企業

の業務処理・風土、あるいは自宅学習に切り替えられない学校授業など、デジタル技術の活用が早急に求められています。世界がWith/Post・コロナ時代に向かう中で、本学としては教育の質を維持しつつ授業形式の選択肢を広げ、先行き不透明な社会を生きるための問題解決能力を育むと同時に、デジタル人材の育成にも努める所存です。

9月下旬から始まる後期授業については遠隔(オンライン)を基本とするものの、可能な限り学内での対面形式も組み入れる予定です。前期における遠隔授業は大半の教員にとって初体験でしたが、後期授業に当たっては前期の経験を活かしながら更なる授業の質向上を図るべく準備をしています。他方で、遠隔授業を行う場合の問題点の二つは通信環境です。本学は、遠隔授業に備えて通信回線を増強し、ICT機器も補充しました。学生はスマホでも受講できますが、パソコンやタブレット利用が望ましいため、必要な学



生に対して機器の貸与、あるいは学内教室での受講も可能とします。

学生にとって友人づくりやサークル活動などキャンパスライフは、大切な機会であり楽しみだと思います。また教室内での通常授業は、教員と対面での受講・質疑、及び学生間の議論を通じて理解を深められ、遠隔にはない良さがあります。従い、後期授業は遠隔を基本としつつも安全面に配慮しながら可能な範囲で対面授業を組み入れ、より良い授業を提供したいと考えます。

「新しい日常」に向けて、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

国際学部



国際学部 国際教育学科
佐藤 孔美 准教授
(生活・生活科指導法等)



国際学部 国際教育学科
小林 輝明 准教授
(こどもと科学教育初等理科指導法等)



国際学部 国際学科
George Stanley Whalley 特任講師
(Listening I・II, Writing I・II, Speaking I・II 等)



国際学部 国際学科
プロミニッツ 林ララ 准教授
(Listening I・II, Writing I・II, Speaking I・II 等)

国際学部



国際学部 国際学科
三浦 知子 教授
(旅行ビジネス論 観光英語I・II、地域観光論等)

経済学部



経済学部 経済学科
星野 智樹 准教授
(西洋経済史I・II 国際経済論I・II 等)



この4月から6名の先生方が着任されましたので、遅ればせながら紹介申し上げます。

＜ 2 0 1 9 年 度 教 育 後 援 会 事 業 報 告 ＞

1. 教育後援会関連事業

2019年	●計画した内容	●実施した内容
4月 1日 (月)	平成31年度入学式参列 新入生父母対象大学説明会	計画通り実施済 計画通り実施済
4月25日 (木)	会計監査	計画通り実施済
5月19日 (日)	第1回役員会 総会 父母懇談会	計画通り実施済 計画通り実施済
9月15日 (日)	教育相談会 第2回役員会	計画通り実施済 計画通り実施済
9月30日 (月)	会報 第58号発行	計画通り実施済
2020年		中止
3月 7日 (土)	教育相談会 就職説明会 第3回役員会	書面決議 中止
3月23日 (月)	令和元年度卒業証書・学位記授与式参列 会報 第59号発行	計画通り実施済

2. 主要後援補助事業

	●計画した内容	●実施した内容
課外活動支援	学生会活動 クラブ活動支援	計画通り実施済 計画通り実施済
学内環境支援	学内環境整備	計画通り実施済
教育活動支援	資格取得者に対する褒賞 生涯学習センター運営支援 メディアセンター・コミュニケーションラボ備品 教室プロジェクター その他	計画通り実施済 計画通り実施済
留学生支援	行政書士によるビザに関する相談会	計画通り実施済
就職活動支援	就職支援講座 教員採用試験対策講座	計画通り実施済 計画通り実施済
生活相談支援	健康相談ほっとライン(ティーベック)	計画通り実施済
学生食堂支援	学食イベントキャンペーン等 敬愛フェスティバル(10月19日・20日)	計画通り実施済 計画通り実施済
大学行事支援	就職フェア(3月2日) 海外スクーリング	中止 計画通り実施済
卒業関係支援	卒業アルバム	計画通り実施済

《2020年度 教育後援会 役員改選について》

年 度	区 分	役職名	氏 名	備 考
学 外 役 員	会 長	副会長	今 吉 哲 也	4年生父母(経済)
			堀 内 進 吾	4年生父母(経済)
			有 泉 武 俊	4年生父母(経済)
	理 事		高 橋 陽 介	3年生父母(国際)
			勝 又 計 徳	3年生父母(経済)
			真 坂 真 由 美	2年生父母(国際)
			原 真 紀	2年生父母(経済)
			西 澤 孝 江	2年生父母(経済)
			塚 越 剛	1年生父母(経済)
			野 中 孝 子	3年生父母(経済)
学 内 役 員	理 事		覺 正 豊 和	学生部長
			渡 辺 賢 二	事務局長
			菅 谷 充 規	学生支援室長
	幹 事		熊 井 夢 立	学生支援室主幹
			西 村 恵 子	学生支援室員
顧 問			三 幣 利 夫	理事長・学長
			中 山 幸 夫	副学長
			成 松 恭 平	経済学部長
			高 橋 和 子	国際学部長

敬称略
※上記内容は大学ホームページでもご覧になることができます。(http://www.u-keiai.ac.jp)

2020年度
教育後援会
総会について

2020年度の「総会」および「父母懇談会」は5月23日に三井ガーデンホテルにて開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、会員の皆様の健康と安全を最優先に考え、「父母懇談会」は中止とさせていただきます。
また、「教育後援会総会」のすべての議事内容は、教育後援会事務局に一任することにより多くの会員様からのご賛同をいただきましたので、このでご報告をさせていただきます

教 育 後 援 会 収 支 決 算

＜ 2 0 2 0 年 度 教 育 後 援 会 事 業 計 画 ＞

1. 教育後援会関連事業

2020年	
4月 2日 (木)	令和2年度入学式参列 新入生父母対象大学説明会
4月中旬	会計監査
5月23日 (土)	第1回役員会 総会 父母懇談会
9月13日 (日)	教育相談会 第2回役員会
9月30日 (水)	会報 第60号発行
2021年	
3月 7日 (日)	教育相談会 就職説明会 第3回役員会
3月23日 (火)	令和2年度卒業証書・学位記授与式参列 会報 第61号発行

2. 主要後援補助事業

課外活動支援	学生会活動 クラブ活動支援
学内環境支援	学内環境整備
教育活動支援	資格取得者に対する褒賞 TOEIC関係対策講座支援 生涯学習センター運営支援 コミュニケーションラベアブルセット その他
留学生支援	行政書士によるビザに関する相談会
就職活動支援	就職支援講座 教員採用試験対策講座
生活相談支援	健康相談ほっとライン(ティーベック)
学生食堂支援	学食イベントキャンペーン等 敬愛フェスティバル(10月17日・18日予定)
大学行事支援	就職フェア(3月1日予定) 海外スクーリング
卒業関係支援	卒業アルバム 卒業パーティー等

2019年度 教育後援会決算報告				
(第2号議案)				
【収入の部】				
項 目	2019年度予算額 (A)	2019年度決算額 (B)	差 異 (A)-(B)	備 考
会 費 入	25,080,000	24,975,000	105,000	◎15,000×1,665名
雑 収 入	2,000	38,203	△36,203	利息、/ルーボ-ル部他貸し入れ金
小 計	25,082,000	25,013,203	68,797	
前 年 度 繰 越 金	9,031,093	9,031,093	0	
合 計	34,113,093	34,044,296	68,797	
【支出の部】				
項 目	2019年度予算額 (A)	2019年度決算額 (B)	差 異 (A)-(B)	備 考
運 営 費	4,020,000	3,028,318	991,682	
会 議 費	1,600,000	1,086,105	513,895	総会、役員会
出 朗 費	1,150,000	862,465	287,535	総会案内、会報、相談会案内等
通 信 費	970,000	879,294	90,706	総会案内発送、相談会案内発送、会報発送
消 耗 品 費	240,000	144,150	95,850	事務用消耗品、ノートパソコン
賃 理 費	0	0	0	
雑 費	60,000	56,304	3,696	通信役員記念品等
父 母 懇 談 会 費	0	0	0	
学 校 行 事 助 成 費	3,850,000	2,881,800	968,200	
新 入 生 研 修 費	50,000	30,540	19,460	新入生学内研修(S・N・S研修)
大 学 祭 費	1,500,000	1,113,260	386,740	敬愛フェスティバル
卒 業 関 係 費	2,300,000	1,738,000	562,000	卒業アルバム
教 育 活 動 助 成 費	4,100,000	3,593,079	506,921	
教育活動充実費		2,181,950		講演品、生涯学習センター支援、教育プロジェクター
図 書 費	4,100,000	1,421,928	1,928,849	メディアセンター・コミュニケーションラボ備品
海外事情研修費		9,201		海外スクーリング
課外活動助成費	6,300,000	5,571,754	728,246	クラブ支援、学外サー研修
就職活動助成費	3,500,000	2,685,630	814,370	
就職模範試験費				
就職特別講座費	3,500,000			
求人開拓費				
就職模範試験費	3,500,000	2,304,200	814,370	教員対策講座等
求人開拓費		381,430		クラブード等
環境整備助成費	3,000,000	1,982,990	1,017,010	2号館2階2202教室増設床コナー・設置一式
学 生 厚 生 費	3,800,000	2,355,340	1,444,660	健康相談ほっとライン、留学生支援、学生食堂
電 毛 費	100,000	20,000	80,000	
積 立 金	0	0	0	
予 備 費	5,443,093	0	5,443,093	
小 計	34,113,093	22,118,911	11,994,182	
次 年 度 繰 越 金	0	11,925,385	△11,925,385	銀行預金 千葉銀行中央支店 第1739005
合 計	34,113,093	34,044,296	68,797	

上記決算を精査した結果、適正であることを認めます。

2020年 6月29日

敬愛大学教育後援会 総務

佐久間 直美

2020年度 教育後援会 予算				
(第5号議案)				
【収入の部】				
項 目	2019年度予算額 (A)	2020年度予算額 (B)	増 減 (B)-(A)	備 考
前 年 度 繰 越 金	9,031,093	11,925,385	2,894,292	銀行預金(普通) 千葉銀行中央支店 第1739005
会 費 入	25,080,000	26,880,000	1,800,000	◎15,000円×1,792名
雑 収 入	2,000	2,000	0	利息
合 計	34,113,093	38,807,385	4,694,292	
【支出の部】				
項 目	2019年度予算額 (A)	2020年度予算額 (B)	増 減 (B)-(A)	備 考
運 営 費	4,020,000	3,960,000	60,000	
会 議 費	1,600,000	1,700,000	100,000	総会(父母懇談会) 役員会
印 刷 費	1,150,000	1,150,000	0	総会 会報 相談会ほか
通 信 費	970,000	1,000,000	30,000	総会 会報 相談会ほか
消 耗 品 費	240,000	50,000	190,000	事務用消耗品(消耗備品)
賃 理 費	0	0	0	
雑 費	60,000	60,000	0	通信役員記念品
父 母 懇 談 会 費	0	0	0	
学 校 行 事 助 成 費	3,850,000	4,300,000	450,000	
新 入 生 研 修 費	50,000	0	50,000	
大 学 祭 費	1,500,000	2,000,000	500,000	敬愛フェスティバル
卒 業 関 係 費	2,300,000	2,300,000	0	卒業記念アルバム、卒業パーティー等
教 育 活 動 助 成 費	4,100,000	8,360,000	4,260,000	
教育活動充実費				資格取得者に対する褒賞 生涯学習センター支 援 T O E I C 関係対策講座
図 書 費	4,100,000	8,360,000	4,260,000	コミュニケーションラボセット 学生課利用P C 海外スクーリング
課外活動助成費	6,300,000	6,300,000	0	クラブ等支援
就職活動助成費	3,500,000	3,500,000	0	
就職模範試験費				
就職特別講座費	3,500,000	3,500,000	0	教員採用試験対策講座 就職支援講座
求人開拓費				
就職フェア				
環境整備助成費	3,000,000	4,300,000	1,300,000	2号館1階ラウンジバルセット
学 生 厚 生 費	3,800,000	3,900,000	100,000	健康相談ほっとライン ビザ相談 留学生支援
電 毛 費	100,000	100,000	0	
積 立 金	0	0	0	
予 備 費	5,443,093	4,087,385	1,355,708	
合 計	34,113,093	38,807,385	4,694,292	

「例年と異なる大学生活」

私は今年度の学友会執行部会長を務めています。学友会とは敬愛大学で学ぶ学生の自治組織であり、その活動を取りまとめることが私たち学友会執行部の役割です。また、大学行事の運営や地域のボランティア活動にも積極的に参加しています。

しかし今年度は新型コロナウイルスの影響によりこれらの活動は自粛せざるを得なくなり、授業も対面で実施できないためオンラインでの授業になったまま前期が終了してしまいました。新1年生は一部対面授業を行っていましたが、半期が終わっても不安は残る日々であったと思います。私たち学友会にお



学友会 会長
羽田 夏穂

例年とは異なる大学生活に戸惑いはありますが、学友会活動もこの逆境を活かせることがあるのではないかと日々模索しています。例えば対面を避けるためにインターネットやSNSを利用した情報発信を行っていくことで、学生に対して活動の認知度が上がったことは大きな成果です。これまでのやり方が通用せず悪戦苦闘することもありますが、現在はそれにやりがいを感じています。

こんな状況だからこそ前向きに物事を捉えていくことで得られる新たな発見もあります。また大学で授業を受けることができる日が待ち遠しいですが、今できることを精一杯取り組んでいきたいと思っています。

SNS ソーシャル・ネットワーキング・サービスの適切な活用について

インターネット上でのコミュニケーションツールとして代表的なSNSには、FacebookやTwitter、LINE、Instagramなどが挙げられます。文字だけでなく動画や音声も使用して全世界に手軽に情報を発信できます。しかし、見ず知らずの人と簡単に繋がれることから事件や事故などのトラブルに巻き込まれたり、心ない誹謗中傷を受けることで精神的に深く傷つくことにもなりかねないものです。

敬愛大学ではガイダンスなどの機会に学生に注意喚起を行っていますが、スマホやPCの使用に慣れている大学生であってもトラブルに遭遇する可能性があることを大人も認識して、機会があればご家族で話し合ってくださいと、より一層トラブル防止につながると思います。

SNSを使う際に知っておいてほしいこと

1. SNS上の情報は必ずしも正しいものばかりではない。(デマや不確かなことも含まれている)

2. SNS上においても社会的ルールを守らなければならない。(他人の写真や情報は無断で使わない)
3. SNS上の情報は世界中に広まるものである。(一度発信したら削除は困難)
4. 匿名であったとしても、責任を負う発言として取り扱われる。(誹謗中傷は人権侵害になる)
5. SNSでの不用意な発言は、友人や家族にまで被害が及ぶことがある。(個人の情報が特定されると次々とプライバシーが暴かれて住所や学校名、親の会社名へと波及していく…)

上記内容は、敬愛大学「CANPUS LIFE 2020」の「学生生活のてびき」にも掲載されています。



教育後援会 TOPICS

教育設備が充実しました！

教育後援会では学生生活の充実のため、様々な補助事業を行っております。

今回は、2019年度内に設置された教育設備などをご紹介します。



3号館3階メディアセンターに設置された照明付きのディスプレイケースです。建学の精神である「敬天愛人」にちなんだ品々が陳列されています。西郷南洲（隆盛）に関する書籍、資料などが保管されています。



2号館階段教室前のラウンジスペース。授業前後に自習したり友人とおしゃべりしたり多目的に利用できます。



コミュニケーションラボに、直接筆記可能なホワイトボードタイプのデスク「ソレイユ」が設置されました。グループワークでは、それぞれがデスク上に書いた後、デスクの位置を変換するとホワイトボードのように立てて使うことができ、一度に参加者のメモを見ることができます。



3教室にあたらしいプロジェクターが設置されました。



2020年度

後期学事日程

※日程の詳細や変更・追加は、その都度掲示等で周知します。

10月	October	11月	November	12月	December
1 木		1 日		1 火	
2 金		2 月		2 水	
3 土		3 火	【祝】文化の日 ※授業実施	3 木	
4 日		4 水		4 金	
5 月		5 木		5 土	
6 火		6 金		6 日	
7 水		7 土		7 月	
8 木		8 日		8 火	
9 金		9 月		9 水	
10 土		10 火		10 木	
11 日		11 水		11 金	
12 月		12 木		12 土	
13 火		13 金		13 日	
14 水		14 土		14 月	
15 木		15 日		15 火	
16 金		16 月		16 水	
17 土		17 火		17 木	
18 日		18 水		18 金	
19 月		19 木		19 土	
20 火		20 金		20 日	
21 水		21 土		21 月	
22 木		22 日		22 火	
23 金		23 月	【祝】勤労感謝の日 ※授業実施	23 水	年内授業最終日
24 土		24 火		24 木	冬季休業(～1/6)
25 日		25 水		25 金	
26 月		26 木		26 土	
27 火		27 金		27 日	
28 水		28 土		28 月	
29 木		29 日		29 火	
30 金	後期分学費納入期限	30 月		30 水	
31 土				31 木	

1月	January	2月	February	3月	March
1 金	【祝】元日 冬季休業	1 月		1 月	就職フェア
2 土		2 火	※終日臨時休講	2 火	
3 日		3 水	後期補講日	3 水	
4 月		4 木		4 木	
5 火		5 金		5 金	
6 水		6 土		6 土	
7 木	授業再開	7 日		7 日	教育相談会・就職説明会 教育後援会役員会
8 金		8 月	後期授業終了	8 月	
9 土		9 火		9 火	
10 日		10 水		10 水	
11 月	【祝】成人の日	11 木	【祝】建国記念の日	11 木	
12 火		12 金		12 金	
13 水		13 土		13 土	
14 木		14 日		14 日	
15 金	※終日臨時休講	15 月		15 月	
16 土	大学入試共通テスト	16 火		16 火	
17 日	大学入試共通テスト	17 水		17 水	
18 月	※終日臨時休講	18 木		18 木	
19 火		19 金		19 金	
20 水		20 土		20 土	【祝】春分の日
21 木		21 日		21 日	
22 金		22 月	成績発表(Webにて)	22 月	
23 土		23 火	【祝】天皇誕生日	23 火	卒業証書・学位記授与式
24 日		24 水		24 水	春季休業(～3/31)
25 月		25 木		25 木	
26 火		26 金		26 金	
27 水	後期補講日	27 土		27 土	
28 木	後期補講日	28 日		28 日	
29 金				29 月	
30 土				30 火	
31 日				31 水	



新型コロナ感染拡大状況下における学部・学科等の取り組み

経済学部

新型コロナウィルス禍のなかでの遠隔授業

経済学部長 成松 恭平

教育後援会会員の皆様には、常日頃から本学の教育にご理解をいただき、また、多大なご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

経済学部では、1年次には経済学と経営学の両方の基礎を学び、2年次から、それぞれの興味・関心そして目的にあわせて経済学科または経営学科を選択することで、より専門的に学ぶことができるようにしています。さらに目指す進路にあわせて、経済学科では、公共経済、金融経済、現代経済の3コースを、経営学科では、企業経営、商業・会計、スポーツビジネス、地域産業の4コースを用意しております。

本年度は、世界的な新型コロナウィルス禍により、入学式を挙行することもできませんでした。期待に胸膨らませて本学に入学された新入生の皆様また、保証人の皆様には、大変残念な思いであつたとお察しいたします。わたくしども教員にとっても新入生の皆様の励ます機会を逃すことになり大変残念な思いでございました。その後も新型コロナウィルスの感染

拡大はおさまらず、全学的に対面授業はとりやめ、やむなく遠隔授業へと変更・実施することとなりました。この事態に、わたくしたち教員も、慣れない遠隔授業をどのようにすればよいのか、試行錯誤を繰り返しながらの授業準備の日々におられました。

しかしながら、多くの学生の皆様には、これまでとは異なる授業形態に自身大きな戸惑いがあるにもかかわらず、わたくしたち教員が、新しい教育方法を試行錯誤のなかで実施していることに好意的な理解を示し、非常に協力的に授業に参加してくれたことには大変感謝しております。

感染拡大の終息はまだ見えません。そのためひきつづき遠隔授業が主となりますが、一部については、対面授業を再開する予定です。教員一同、さらなる授業改善をしながら、より学習しやすい授業努力をしていく所存です。

引き続き、教育後援会会員の皆様にも、ご理解とご協力・ご支援をお願い申し上げます。

経済学科

未曾有の事態に直面して

経済学部 経済学科長 矢口 和宏

新型コロナウィルスの影響により、多くの大学同様、経済学科でも多くの授業をオンライン形式で行うことを余儀なくされました。オンライン形式の授業だと学生は自宅での学習が中心になります。自宅での学習となると、通信教育を想像しがちになります。通信教育も教育の一種ではあるのですが、教員が一方的に教材を提示し、後は学生の自主性に任せるといった側面があることは否定できません。

そのため、ゼミなどの一部の授業では、「Zoom」などのオンラインアプリケーションを使うことで、同時双方型の授業を導入するという工夫を行いました。実はこれらのアプリケーションは、教員なら誰でも利用できるという状態にはありませんでした。教員側も一からアプリケーションの使い方を勉強しました。教員同士が自主的に勉強会を開き、これらのアプリケーションをマスターしていったのです。こども息女がパソコンや携帯電話の前で何やらフツフツとやっている光景が見られたかもしれません。この姿こそ、オ

ンラインアプリケーションを用いた対面型の授業の結果なのです。

さらには、オンライン授業で使う教材にも工夫を凝らしました。講義動画を自ら作成し、YouTubeにアップロードして、学生に視聴してもらうという授業形式をとったものもあります。この場合、講義動画はご父兄の方々も視聴できるので、大学の授業内容とは異なるものかを確認することができま

す。講義動画の作成にはかなりの時間を要しますので、多少見栄えが悪くてもどうか温かい目で見ていただければ幸いです。

後期も事態が急速に変わらなければ、自宅での学習が中心になります。そのような状況でも、ゼミなどは可能な限り対面型の授業を実施しますが、三密は避けなければいけません。教員もこれ以上のオンライン授業の工夫をいたしますが、自宅学習を実りあるものにするためにも、ご自宅の通信環境を整えていただくことを切に希望いたします。

国際学部

コロナ禍の状況における国際学部の取り組み

国際学部長 高橋 和子

日頃より教育後援会の皆様からのご理解と温かいご支援に対して心より感謝申し上げます。また、このたびの新型コロナウィルス感染拡大の影響によりご迷惑をおかけしていることをお詫びいたします。

国際学部では海外プログラムを重視しており、2月に海外スクーリング（フロリダ）、続いてフィリピン語学研修を実施しました。しかし、3月初旬に本学部生が留学中の提携大学で感染者が出たとの連絡があり、他の国でも次々と大学の閉鎖が始まったため、学生の意向を確認しながらも帰国を促しました。全員が無事に帰国できたことは安堵しましたが、この時点で、前期に予定していた留学は後期に延期（さらに延期・中止もあり）、今年度の交換留学生受け入れも中止と決めました。

国際学部で最も苦慮したのは新入生への対応です。入学式の中止、対面ガイダンスなし、必修英語科目の習熟度別クラス分けテストも行えない、さらに、学生同士や教員との交流を深め

ながらアカデミック・スキルを身に付ける「1年基礎演習」は、遠隔授業で相互の信頼関係が築けるのかなど様々な問題がありました。幸いこれらの科目は少人数クラスでしたので、対面授業に近い「双方向型」とし、担当教員同士や教職員間で頻りに情報交換を行い、いつも以上に学生に対するケアをみなで心がけました。

遠隔授業には双方向型の他に「オンデマンド型」があります。授業開始までの1ヶ月は学部の全教員でスキル習得に励み、授業内容や受講生数により使い分けました。その結果、「学生による授業評価」は、例年より低下したものの、学部全科目の平均が4.0点（5点満点）と辛うじて及第点でした。

現在、国際学部は学部FD（ファカルティ・ディベロップメント）として「遠隔授業の教育方法・教育内容に関する研究」に取り組んでおり、後期は、前期の経験に加え、この学びを活かした教育を行っていく所存です。

今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

経営学科

自主自律的な学びへの回帰の時

経済学部 経営学科長 栗屋 仁美

新型コロナウィルス対策として、大学における遠隔講義の実施が決定した今春、対面講義と同等の教育の質を担保することが我々教員の目的となりました。そのため、慣れないオンラインツールの操作や、学習意欲を促進する教材作成に関する自主的研修会を、経済学部の教員（主催 金珍淑先生）を中心として連日のように開催し、開講に備えました。

オンデマンド型を基本とした前期講義は、動画配信もしくは資料提示の形式をとりましたが、最初は不安だった学生さんも、都合の良い時間帯に反復視聴し、適宜KC Nで教員に質問するなど、自分のペースで学べるという利点を発見できました。他方でゼミは、PCやスマートフォンの画面上で顔を確認できるWEB会議システムを用い、情報交換・交流の場も兼ね、概ね高い出席率であったと聞き及んでいます。

後期は、前期のオンデマンド講義の経験をもとに、いくつかの講義もWEB会議システムを用いてライブ形式にするなど、チャレンジする予定です。

前期を振り返れば、三密を避けるために余儀なくされた遠隔講義は、講義室に集うことはできないものの、講義を受けて学生さんが自主自律的に学ぶという大学の学びのスタイルを回帰させました。また情報機器の活用により、場所を問わずコミュニケーションを可能にしたこと、画面上のアップした顔を見ながら話ができることにより、学生さんと教員の距離を実は接近させたようにも感じます。

とはいえ遠隔講義の有効性は、一時期もしくは一部であることにより発揮されます。学問の場、そして人間形成の場でもある大学として、来春には稲毛のキャンパスが賑やかになることを願います。





新型コロナ感染拡大状況下における学部・学科等の取り組み

国際学科

「歴史の教訓」と「学びをとめないこと」への努力

国際学部 国際学科長 家近 亮子

2020年度前期は歴史的な学期となりました。新型コロナウイルスの蔓延による全国的規模での学校閉鎖は、児童・生徒・学生にとってはもちろんですが、保護者の皆さまにとっても大変な出来事だったと思います。

私は近現代史を専門としておりますので、第1次世界大戦中の1918年3月、ヨーロッパで兵士たちから拡がった「スペイン風邪」のことが頭に浮かびました。その新型インフルエンザは日本にも及び、当時の人口の約半数がかかり、45万人もの死者をだしました。「スペイン風邪」の患者は、第一波の時は高齢者が中心でしたが、第二波では若者が中心となり、多くの犠牲者を出したのです。当時は全面的な学校閉鎖などの措置はとられず、若者の間の蔓延を止めることが出来なかったようです。

前期、国際学科はオンライン授業を実施しました。100年前に比べ、情報技術の格段の進歩は対面でもなくとも「学びをとめない」ことを可能としたのです。ただ、教員にとっても初めての体験でありまして、大きな戸惑いがあったことは事実です。そのため、教員間での勉強会や

学生の情報共有のための会議を頻繁におこない、通信環境や身体的・精神的ストレスで学生が困っていないか、欠席が続いている学生への対処法など、皆で真剣に話し合い、実行してきました。

授業に関しては二人の学生のレポートにあつた「オンライン」といっても、しっかりとした授業が受けられてすくく助かりましたというコメントに安堵しましたがそれでも学生同士の交流の機会を提供できていないなどの問題は解決されていません。対面にまさるものはないという認識は、教員側も一様にもつております。

ただ、「歴史の教訓」からすると、第二波・第三波には細心の注意をはらうべきだと思います。学生を守るために、私たち教員には何ができるのか。後期も前期以上に学生一人一人と向き合う努力を重ねていきたいと思っています。

前期には1年基礎演習のみ対面授業を実施しましたが、後期には他の授業でもその機会を持つことができますよう、可能となる方法を話し合い、実行していきたいと思っています。

学生部

コロナ禍における学生支援について

学生部長 覺正 豊和

新型コロナウイルスの感染拡大をうけ未曾有の事態のなか、敬愛大学では5月4日に授業を開始いたしました。

学生のみならずには感染拡大防止のための行動制限、これまでにない学習方法や学習手段を余儀なくされ本当に大変だったと思います。さいわい教育後援会の保護者・保証人の皆様方のあたたかいご理解・ご協力・ご支援のもと、学生支援室をはじめ全学をあげての真摯な努力によりなんとかクラスター発生もなく前期授業を終了することができました。この場において心より御礼を申し上げます。

さて、このような中、学生部として新型コロナウイルス感染拡大防止およびコロナ禍での学生支援にむけて取り



組んできたことを簡単に挙げさせていただきます。

- ・全学生に向けた安否確認の実施（海外渡航の有無、期間、現況確認など）
 - ・感染拡大防止のための注意喚起、最新情報の提供
 - ・健康を保つオンライン授業を受けるための注意の配信
 - ・電話やZoomでの学生相談の実施、学生のストレス軽減のための相談室だより配信
 - ・各種経済支援の周知、相談、申請のアドバイス
 - ・課外活動の自粛に関する周知
 - ・課外活動再開に際しての感染拡大防止策の実施
 - ・学生寮における感染拡大予防対策の実施
 - ・新型コロナウイルスの影響下における悪質商法（マルチ）や不適切なバイト防止に向けた注意喚起 等々
- 以上の取り組みは、後期授業開始、第二波・第三波に備える体制づくりや学生のストレス緩和へもつながるものと信じています。

こども教育学科

学生と教職員の協働で危機に立ち向かう

国際学部 こども教育学科長 向山 行雄

コロナ禍の日々、前期の学修を進めることができませんでした。まずもって、多大なご支援とご協力を賜りました保護者の皆様に厚く感謝を申し上げます。

この間の取組について報告いたします。第二に授業については、五月からオンラインにより実施しました。各学年のゼミはZoom、その他の授業はオンデマンド等の方法。その中で、一学級は、七月（土）二五日（土）に、三密に留意しながら、大学構内で対面により行いました。

第二に教育実習や介護等体験などについては、関係自治体の実施形態に合わせ、一部学生は前期、大部分の学生は後期（あるいは次年度）に延期する等の措置を取りました。また、学校におけるボランティア活動について、貴重な学校体験の場として奨励をいたします。事前指導はオンラインで実施しました。

第三に、教員採用選考に向けては、自宅と教職センターを郵送で往復する添削指導を実施しました。また、七月中旬の第一次選考前、八月下旬の第

二次選考前には対面による対策講座を合計八回実施しました。

このように、厳しい状況の中での学修で、学生たちは、とてもよく努力してくれました。ある学生は、「わんこそば状態だ」と訴えました。食べても（課題を出しても）すぐにお腹に入られる（課題を出される）。忙しいという声です。前期の課題を分析しながら今後の学修を、改善していきたいと考えています。



教務部

オンライン授業の実施とご協力について

教務部長 森島 隆晴

新型コロナウイルス感染予防の対応として、本学では、5月から全面オンライン授業の実施を決定しました。これに際し、学生側のパソコンやスマホ、通信環境などに関する調査を実施し、学生の約4割がスマホしか持っていない、通信環境にも制限があることがわかりました。これを考慮して、講義科目では、オンデマンド型を基本とし、同時双方向型で行う場合はオプションとして扱うこと、を授業担当者に依頼するとともに、各学生にも、この点を周知するよう努めました。しかし、

当初は、授業担当者、学生双方に少なからず混乱があり申し訳なく思っています。その後は、大きなトラブルもなく、8月には成績評価も終え、前期を終えることができたことに感謝いたします。後期は、一部で従来通りの対面型授業を再開する予定ですが、大半の科目はオンライン授業を継続いたします。前期に引き続き、ご理解いただけますよう、加えて、パソコンや通信環境などを整えることに、ご協力いただけますようお願い申し上げます。



新型コロナ感染拡大状況下における学部・学科等の取り組み



学内施設コロナ対策



大学事務室の窓口には消毒液とアクリルパーテーション



キャリアセンターの窓口感染防止対策。



3号館入り口の検温場所。



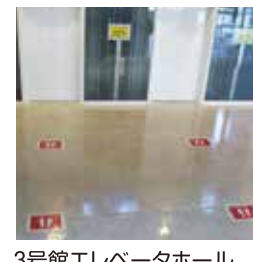
メディアセンターの閲覧スペース
隣の人と距離が保てるような配置



コミュニケーションラボ。座席は隣の人と2m離して配置。



エレベータの利用は1度に
最大5人



3号館エレベータホール。
ソーシャルディスタンスを
保つ足の位置。



3号館ラウンジ。
ソーシャルディスタンスを保つ配置に間引きしています。

キャリアセンター 新型コロナウイルス感染拡大状況下 におけるキャリアセンターの取り組み

キャリアセンター長 中山 雄二

教育後援会の皆様には、平素より本学のキャリアセンターの活動に対するご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。今年度の就職環境は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、好調だった昨年までとは大きく異なり、大変厳しい状況となっています。

このような中、本学では感染防止の観点から「入構制限」が継続されていますが、キャリアセンターにおいても感染防止対策を十分講じた上で可能な限りの就職支援活動に努めております。

具体的には、対面またはオンラインによる就職活動相談、面接練習、エントリーシート・履歴書添削等きめ細かく丁寧な指導を行っております。さらに一人ひとりの内定状況や現状を把握するため、電話による「就職活動状況調査」を実施するとともに、就職に関する悩み等に相談できる体制を構築しています。今年度は、4年生にとって就職解禁のスタートとなる「就職フェア」は残念ながら中止とさせて頂きましたが、その代替策としてオンライン

又は対面による「学内企業説明会・学内選考会」を約60社実施（8月末現在）しており、今後も継続してまいります。

このような取り組みを精力的に行った結果、現時点で上場企業や金融機関をはじめとした有力企業から内定（内々定）を獲得するなど、内定率も徐々に向上し前年並みの実績に近づいています。

一方、3年生に対してはオンライン形式のインターンシップやマイナビ、リクナビが主催する「就活準備プレセミナー」等を実施するなど、さらに厳しさが増すと予想される来年の就職活動に向けた取り組みも開始しています。

現在4年生は大変過酷な就職環境で健闘されていますが、キャリアセンターとしては一人でも多くの学生が就職できるように、きめ細かな支援を継続して参りますので、教育後援会の皆様におかれましては、今後ともキャリアセンターの活動に対する「一層の」支援・ご協力をお願い致します。

メディアセンター 情報通信環境の増強および パソコン機器・図書館の運用

メディアセンター長 藪内 正樹

全授業をインターネット経由の遠隔授業とし、5月4日（月）に開始する方針が決まった3月末から、メディアセンターでは、学内サーバーの増強とインターネット回線の増速に取り組みしました。4月中旬にテストを行って迎えた初日の5月4日、朝から学内情報システムへの学生のアクセスが集中し、終日アクセスし難い状況が続きました。教材の掲示などは、並行して利用していた Moodle システムへ移すなどの善後策が検討されましたが、翌朝、サーバー保守会社が設定を調整すると問題は解消され、一同、胸を撫で下ろすことができました。

また、同時双方向型の授業に利用する会議システムとして、ZOOM を利用する教員が多かったのですが、教員によつて他の選択肢も利用できるよう、メールシステムに付随するアプリケーションの使用可能にする措置も行いました。

事前予約による学内パソコンの使用も始めました。また、図書館の蔵書は、以前からインターネットで検索することが出来ましたが、5月中旬から、検索した図書をメールで貸し出し申請すると、大学から宅配することも開始。6月からは事前予約による図書館の利用も始めました。

さらに、すべての学生に、自宅インターネット環境整備費として一律5万円を支給する提案も行い、実現しました。

今回は新型コロナ対策として行った諸対応でしたが、今後も、新たな非常事態への対応、個別学生の諸事情への対応、教学・学修レベル向上のため、文部科学省の補助金も活用して、さらなる増強、増速、充実に図っていくことにしています。

